

問題81~100			
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3
81	買物客自身が商品を精算するセルフレジが多くの店舗で導入が進んでいる。意図的かどうかを問わずスキャンも漏れをけん制するために使われ始めている機器はどれか。		
	店内の天井、柱に設置された大型モニター	小型のモニター一体型カメラ	天井などに設置される監視カメラ
82	顔認証技術の説明で正しいものはいくつあるか。①「顔認証技術とはカメラで撮影した画像から、人の顔を読み取って、既知の顔のデータと照合することである」②「技術的には顔の向きの変化、経年変化、照明の変化などさまざまな利用環境や条件に対応が必要である」③「既知の万引犯の顔画像の利用についても個人情報保護法を遵守した運用が必須である」		
	ひとつ	ふたつ	みっつ
83	安全な顔認証システム運用を確かなものにするためには小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」を設けている団体はどれか。		
	顔認証システム個人情報保護委員会	工業会顔認証システム安全利用協会	工業会日本万引防止システム協会
84	レジ精算データの現金過不足が出る原因のうち現金カウンター機能（自動つり銭機）を導入することで防ぐことができず別途対策が必要なものは次の7つの中にいくつあるか。①レジ締め時の金額カウントミス、②従業員の不正行為、③商品券・ギフト券などの処理ミス、④拾得金の処理ミス、⑤つり銭の渡し間違い、⑥預り金額の入力ミス、⑦両替時のミス		
	三つ	四つ	五つ
85	万引防止システムにも利用されているRFIDについての説明で誤っているものはどれか。		
	非接触で半導体メモリ（RFIDタグ）のデータを読み出し、書き込みのための近距離通信を行うものの総称のことである	個人が使用している交通系カードやプリペイドカードで使われている技術は、RFIDタグとは異なる	実用化されているRFIDタグは、タグを無効化するだけでタグは商品に残されたままのタイプと精算時に取り外しするものがある
86	各種センシング技術は防犯にも活用されている。「マイクロウェーブセンサー」についての説明で正しいものはどれか。		
	高周波電波の周波数変化で動きを検出し、屋内屋外で使用できるが、建物の壁、扉、窓を電波が通過することがあり、監視区域外の動きによる誤報が起きる可能性がある	電波パターンの中断によって動きが検出されたときに警報を鳴らす、壁を貫通することはないが、空調や水の動きによる誤報の可能性がある	電波を発するのではなく赤外線を受光感知するもの、熱を発する物体（人間など）を感知し屋内屋外で使用することが可能
87	店舗レイアウトについての説明で正しいものはどれか。		
	買物のしやすさよりも、未精算の商品を持ちだすといった不正行為を予防することを優先すべきである	できるだけ死角をつくらないようにすべし、通路幅を広くすることは当然だが、陳列仕器の高さも低く抑えるべきである	出入口は非常に重要で、未精算の商品を持ちだそうとする者にとっては難しい配置になっていることが望ましい
88	物理的アクセス・コントロールの説明で誤っているものはどれか。		
	商品の中でも高額で換金しやすい商品は、施錠された陳列ケースや保管場所に保管することで不正な持ち出しを防ぐことができる	施錠されたケースや保管場所から商品を取り出す作業は、作業を増やすことになるので慎重に保管すべき商品や保管管理方法を検討して決定する必要がある	売場は不特定多数の人間が出入りできるが、事務所や後方の倉庫（バックルーム）には特定の人間しか入れないので、現金などの保管を除いて施錠は不要である
89	店舗に保安警備会社から防犯対策専門の警備員を派遣してもらうことがあるが、以下の説明で誤っているものはどれか		
	店舗側が警備を行う専任者を保安警備会社から派遣してもらうのではなく直接雇用することはできる	店舗側が警備会社から派遣された警備員に直接作業指示などできる	警備業は派遣業務ではないので、人材派遣業者が派遣することはできない
90	警備員についての以下の文章で誤りはどれか。		
	警備員は、必要に応じて「取り調べ」に類似する行為が認められている	制服警備員には直接的に万引を抑止する効果がある	私服警備員には直接的に万引を抑止する効果がない
91	全国万引犯罪防止機構の2018年のアンケート調査による「万引犯を確保した人物」のうち保安員（警備員）と回答があった比率は全体の何パーセント程度か。		
	20パーセント程度	50パーセント程度	80パーセント程度
92	万引犯の捕捉には常にリスクが存在する。「誤認」逮捕を防ぐためにはどのような犯行確認をすべきか。次の中から正しい組み合わせを選べ。①自店の商品である、②未精算のものである、③犯行場所（売場）が特定されている、④隠匿（隠し持っている）場所が特定されている		
	①②③④	①②③	①②④
93	捕捉した後の万引犯への対応について誤っているものはどれか。		
	捕捉した犯人は、後の無用なトラブルを回避するためにも速やかに警察官に引き渡すべき	捕捉した犯人には、過去に同様な万引（余罪）がある可能性があるため、その場で追及すべきである	逃走を図るおそれがない場合は、衣服や腕を掴んではならない
94	万引窃盗犯に対して損害賠償請求する最も重要な目的は何か。		
	「被害額が小さい」「商品を買えば許してくれる」といった万引犯の安易な考え方を改めさせることで万引犯罪を抑止する	損害賠償請求することで万引被害による金銭的被害を取り戻す	損害賠償請求することで万引被害による金銭的被害だけではなく万引防止のための監視や警備員にかかるコストを取り戻す
95	万引犯に対する「損害賠償請求書」の作成送付は、誰（どの部署）が行うのがよいか。		
	本部の総務部門など管理部門の担当者	被害にあった店舗の店長もしくは担当者	外部の弁護士事務所など
96	以下の項目のうち損害賠償の対象となるものに含まれないものはいくつあるか。①損害商品金額、②什器・備品破損金額（破損があった場合のみ）、③保安警備員の本件に拘束された時間に時給単価を乗じたもの、④店舗従業員の本件に拘束された時間に時給単価を乗じたもの		
	ひとつもない	ひとつ	ふたつ
97	店舗や売場に限らず「仔細な不具合を放置すると、荒れ放題になってしまうがちである」という理論を何というか。		
	落ち葉理論	割れ窓理論	落書き理論
98	事故発生時の負傷者対応で応急手当の中でも特に「心肺蘇生」「AED」「気道異物の除去」の三つは命を救うための処置であることから「救命処置」と呼ばれる。そのうち「AED」は、どのようなものか。		
	心停止の原因となる重症不整脈を回復させるもの	心停止を直接回復させるもの	呼吸を回復させるもの
99	甚大な災害が発生したときに、災害によって営業が継続できるか、一時休止するのか、重要な判断をして、復旧に向けた行動を開始していくことが求められる。こうした緊急事態に遭遇した場合に、事業の継続を図るための計画のことをなんと呼ぶか。		
	B C P (Business Continuity Plan)	B E M (Business Emergency Measures)	B R C (Business Resilience Counterplan)
100	ネットを標的としたサイバーテロに対する情報セキュリティの強化の必要性も年々高まっている。その犯行手口は多様化している。その中で企業のサーバーに大量のデータを送りつける妨害行為をなんと呼ぶか。		
	ハッキング	D D o S 攻撃	ランサムウェア